

令和8年度

20260422

八王子市立散田小学校 学校経営方針

学校教育目標

思いやりのある子

学びあう子

たくましい子

未知（道）を楽しむ力

ふるさとを誇る心

響き合い支え合う学校

「共汗・継続・徹底」

共汗・・・ 一緒に取り組む

継続・・・ 続けて取り組む

徹底・・・ とことん取り組む

『子供を真ん中にした教育』

常に、子供にとって？

子供はどう考えているのか？

子供は何を学びたいのか？

子供は何を困っているのか？

という視点に立った教育活動を展開しましょう！

戻るところは、「子供にとってどうあるべきか」です。

散田小学校の子供たちのために、質の高い教育の実現に向けて、

教職員一丸となり、「共汗・継続・徹底」で教育活動を推進していきます！

令和 8 年度 散田小学校の教育

— 子供を真ん中にした学校づくり —

1 散田小学校が大切にすること

散田小学校では、「子供を真ん中にした教育」を進めます。子供一人一人が、安心して過ごし、仲間と学び合い、自分のよさや可能性を伸ばしていける学校を目指します。

学校教育目標は、次の三つです。

- ・思いやりのある子
- ・学びあう子
- ・たくましい子

また、学校づくりの柱として、次の三つを大切にします。

- ・未知(道)を楽しむ力
- ・ふるさとを誇る心
- ・響き合い支え合う学校

令和 8 年度教育課程では、学校教育目標を「思いやりのある子・学びあう子・たくましい子」とし、確かな学力、豊かな心、健康・安全、不登校支援、いじめ防止、特別支援教育、小中一貫教育の充実を基本方針として示しています。本資料では、その内容を、保護者・地域の皆様に分かりやすくお伝えできるよう、三つの柱に沿って整理しました。

2 三つの柱で進める教育

(1) 未知(道)を楽しむ力

子供たちが、仲間とともに「できた」「分かった」「もっとやってみたい」という喜びを感じながら学べるようにします。

授業では、次のことを大切にします。

- ・目的や見通しをもって学ぶこと
- ・自分なりの学び方を選ぶこと
- ・振り返りを通して学びを深めること
- ・対話や協働を通して考えを広げること(プロセスを楽しむ)
- ・ICTと本・図鑑・辞書などを目的に応じて使い分けること

教育課程では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、目的意識や見通し、自己調整、振り返り、多様な言語活動、デジタルとアナログ双方の活用を重視しています。さらに、高学年における教科担任制や交換授業も推進するとしています。

また、生活科や総合的な学習の時間を中心に、探究的な学びを充実させます。地域や実生活の中から課題を見付け、調べ、考え、まとめ、伝える学習を通して、子供が自ら学びの道をつくっていけるようにします。総合的な学習の時間では、「ふるさと散田・八王子」を感じる郷土学習や、地域社会・実生活の中から課題を設定する探究的・協働的な学習が位置付けられています。

(2)ふるさとを誇る心

散田や八王子の自然、文化、歴史、人との関わりを通して、自分の育つ地域を大切に思う心を育てます。そのために、

- ・八王子車人形などの日本遺産に触れる学習
 - ・地域の人材や教育資源を生かした学習
 - ・学んだことを地域や下学年に伝える「学びを伝承する活動」
 - ・地域や保護者と協働した交流活動
- を進めます。

教育課程では、総合的な学習の時間における郷土学習、キャリア教育における「学びを伝承する活動」、特色ある教育活動としての八王子車人形、和太鼓、茶道等の体験、保育園・幼稚園・シニアクラブ・盲学校との交流など、地域とつながる学びが幅広く位置付けられています。

子供たちが、「地域で学ぶよさ」「地域とつながるよろこび」「ふるさとへの誇り」を感じながら成長していけるようにします。

(3)響き合い支え合う学校

学校は、子供たちにとって安心できる居場所でなければなりません。そのために、子供同士、教職員、保護者、地域が互いに支え合う学校をつくります。

主な取組は次の通りです。

- ・生活・学習規律の定着(スタンダード)
- ・異学年交流や特別支援学級との交流
- ・支持的な学級・学校風土づくり
- ・互いの違いを認め合う学びの充実

教育課程では、学校行事、縦割り班活動、特別支援学級との交流、道徳教育、キャリア教育を通して、多様な他者と協働する力や、自己実現につながる力を育てることが示されています。

3 安心・安全と、一人一人を大切にす支援

散田小学校では、子供たちが安心して学校生活を送れるよう、いじめ防止、不登校支援、特別支援教育を大切にします。

○いじめ防止

- ・学校いじめ対策委員会を定期的に実施します。

- ・アンケートや個人面談、日常の見守りを通して、早期発見・早期対応に努めます。
- ・全教職員で情報共有し、組織的に対応します。

教育課程では、学校いじめ対策委員会を週1回実施し、新規・継続案件の確認、対応策の協議、全教職員の共通理解を図ることが明記されています。

○不登校支援

- ・「つながるプラン」を踏まえ、安心できる学級・学校風土をつくります。
- ・登校支援コーディネーターを中心に、スクールカウンセラーや関係機関と連携します。
- ・多様な学びの場や居場所づくりを進めます。

教育課程では、不登校総合対策「つながるプラン」に基づく対応、個票システムの活用、関係機関との連携、校内別室の活用などが示されています。

○特別支援教育

- ・学校生活支援シート、連携型個別指導計画を活用します。
- ・特別支援教育コーディネーターを中心に、関係教員・関係機関と連携します。
- ・交流及び共同学習を通して、相互理解を深めます。

教育課程では、インクルーシブな教育の実現、ケース会議、研究・研修、都立特別支援学校との副籍交流などが位置付けられています。

4 学力保障・健康安全・体力づくり

○学力保障

- ・はちおうじっ子ミニマムを活用します。
- ・学力調査等を踏まえて授業改善を進めます。
- ・朝の基礎学習、放課後の学習内容の定着の時間、補習教室を実施します。

教育課程には、ドリル型学習コンテンツやテストパークの活用、家庭との連携も含めた学力保障の取組が示されています。

○健康・安全・体力づくり

- ・体力テストの結果を踏まえ、運動への意欲を高める取組を行います。
- ・健康の保持増進、事故防止、安全教育を計画的に進めます。
- ・食育や給食指導を通して、望ましい生活習慣を育てます。
- ・「生命の安全教育」を通して、自分や相手の体を大切に育てます。

教育課程では、体育、保健、安全、食に関する指導に加え、性暴力・性犯罪の加害者、被害者、傍観者とならないための「生命の安全教育」も明記されています。

5 小中一貫教育と地域連携

散田小学校は、横山中学校グループ(散田小・横二小・横山中)として、「地域とつながり、命を守る」を共通目標に、小中一貫教育を進めます。

主な取組は、

- ・小中合同による交流活動
- ・学力定着プロジェクト部会による授業改善
- ・配慮が必要な児童・生徒の情報共有
- ・保小の連携、学童保育所との情報共有
- ・地域防災フェスタなど地域とつながる取組

です。教育課程では、「自己実現と成長 つながりと感謝 ウェルビーイング防災横山」を合言葉に、地域・保護者と協働することが示されています。

6 保護者・地域の皆様とともに

散田小学校の教育は、学校だけで成り立つものではありません。保護者や地域の皆様と力を合わせることで、子供たちの学びと成長はより豊かなものになります。

今年度も、

- ・地域と協働した学習活動
- ・学校公開や教育活動の発信
- ・家庭と連携した学習・生活習慣づくり
- ・子供の安全・安心を支える見守り

を大切にしながら、「地域とともに子供を育てる学校」を進めていきます。

7 結びに

令和8年度の散田小学校は、「未知(道)を楽しむ力」「ふるさとを誇る心」「響き合い支え合う学校」を柱に、子供たち一人一人の成長を支えていきます。

子供たちが、安心して学び、仲間とつながり、地域に学び、自分の未来を切り拓いていけるよう、教職員一同、力を合わせて教育活動を進めてまいります。